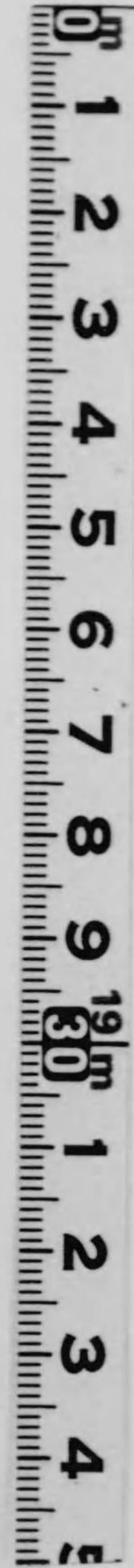


372

114

水稻採種圃經營方法



始



水稲採種圃ノ經營方

大正七年五月

静岡県立農事試験場

372-114



水稻採種圃ノ經營方法目次

第一 緒言

第二 米麥品種改良經營組織

品種改良研究事業

原種配付事業

第三 採種圃ノ經營方法

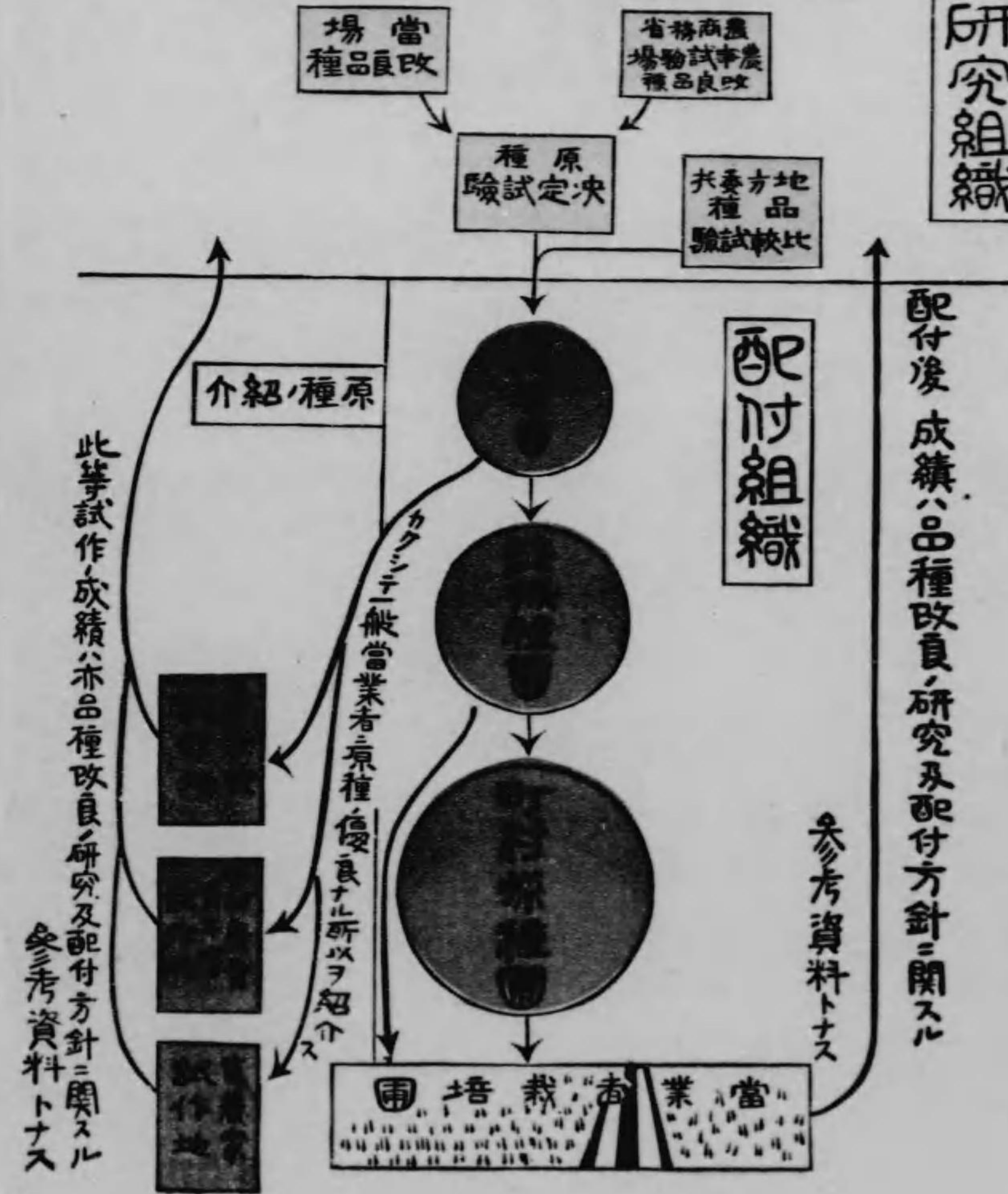
一、採種圃經營上ノ要件

二、採種圃經營上特ニ注意スベキ事項

大正
7.6.12
内交

米麥品種改良
事業經營組織

品種改良
ニ関スル
研究組織



372-114

水稻採種圃ノ經營方法目次

第一 緒 言

第二 米麥品種改良經營組織

一、品種改良研究事業

二、原種配付事業

第三 採種圃ノ經營方法

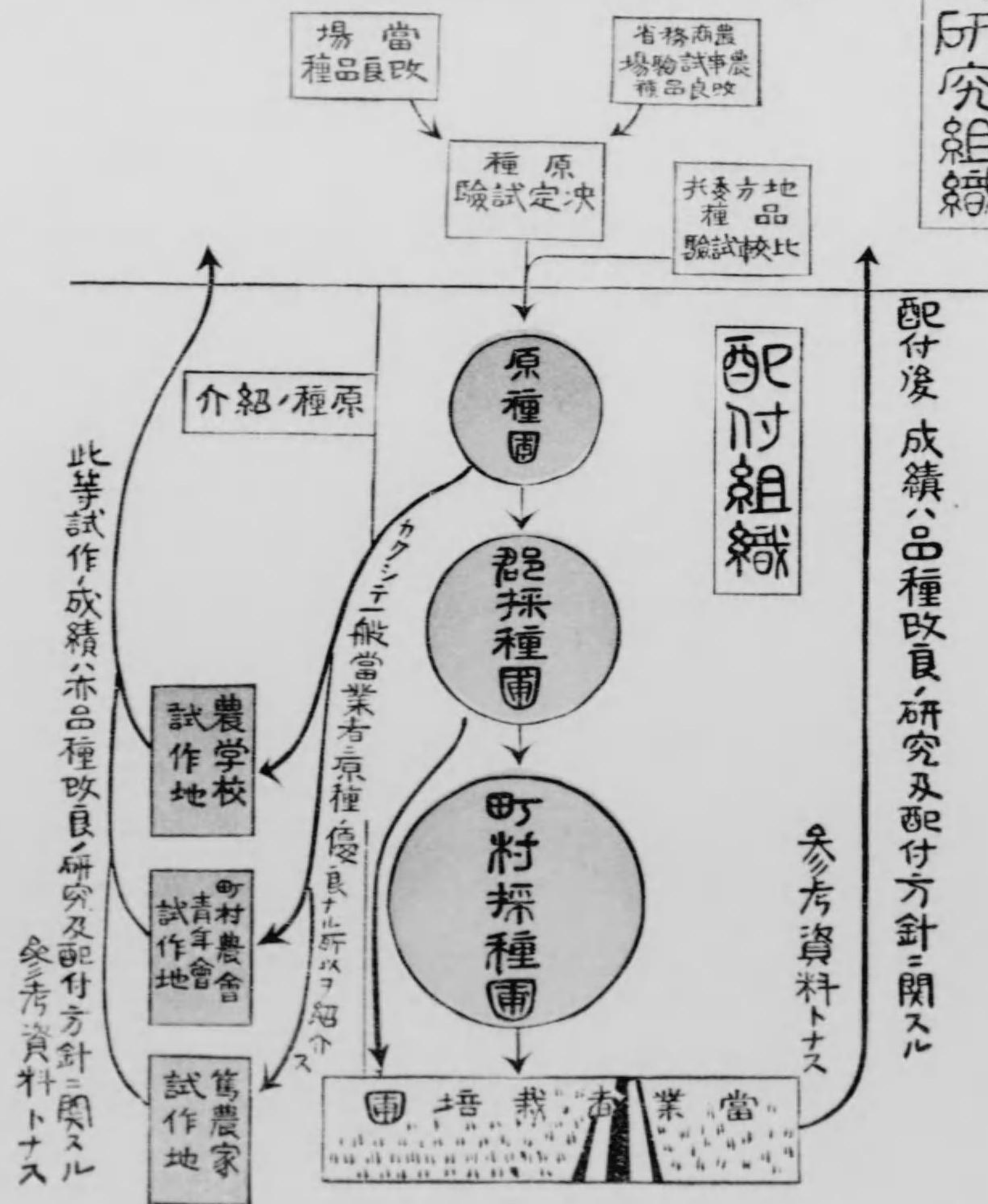
一、採種圃經營上ノ要件

二、採種圃經營上特ニ注意スベキ事項

大正
7. 6. 18
内交

米麥品種改良 事業經營組織

品種改良
ニ関スル
研究組織



水稻採種圃ノ經營方法

第一緒言

國民ノ主要食料品タル米麥ノ生産額ヲ増加セシムルコトハ、國民糧食ノ自給獨立上ヨリ言フモ、又、農家ノ個人經濟上ヨリ論ズルモ、極メテ緊要デアルト云フコトハ、今更、説明ヲ要シナイコトデアツテ、我政府之ガ爲メ從來種々ノ施設ヲ爲シ、各種ノ方面カラ米麥ノ增收獎勵ニ努メテ來テ居ル。而シテ米麥ノ生産額ヲ増加セシムルニハ、開墾、耕地整理、肥料ノ配合、其ノ他栽培技術ノ改良及病害蟲驅除豫防等、種々ノ方法ガアリ、何レモ極メテ重要ナモノデアル。就中、優良品種ノ栽培ト云フコトハ、何等栽培ノ勞費ヲ増加スルコトナクシテ增收ノ目的ヲ得ラレ、而モ、之ヲ普及シテ其ノ効果ヲ舉グルコトハ、栽培法ヤ肥料ノ改良ト比較シテ割合ニ容易ナヤウニ思ハレル。殊ニ、晩近實驗遺傳學ノ發達ニ伴ヒ、之ガ應用ニヨル品種改良ノ方法ハ著シキ進歩ヲ爲シ、人工交配法ニヨリ或ハ純系淘汰法ニ依テ、米麥ノ如キモ、比較的容易ニ、而モ、確實ニ、優良品種ガ陸續トシテ育成セラレ得ルヤウニナツタノデ、品種改良ノ研究及之ニ依テ改良セラレタル良品種ノ栽培普及ト云フコトハ、愈々、重要ノ度ヲ加ヘテ來タノデアル。

斯クテ、我政府ハ、第三十七議會ノ協賛ヲ經テ、大正五年三月米麥品種改良獎勵規則ヲ發布シ以テ全國ニ

此事業ヲ獎勵シ、本縣亦此規則ニ從テ所謂米麥品種改良事業ヲ計畫シ、大正五年度カラ實施ニ着手シタノ
デアル。

而シテ、本事業ノ目的ヲ遺憾ナク達センガ爲メニハ、指導ノ任ニ當ル人ハ勿論、一般當業者ニモ、本事業
ノ意義ヲ充分徹底セシメナクテハナラヌト云フ事カラ、當場ニ於テハ、昨大正六年八月、『静岡縣ニ於ケル
米麥品種改良事業』ナル冊子ヲ發行シテ、此事業ノ内容ヲ詳シク説明シテ置イタガ、尙、本年度ヨリハ町
村農會經營ノ水稻採種圃ガ汎ク設置セラレルニ就キ、主トシテ町村ノ水稻採種圃經營上ノ注意ヲ述ベンガ
爲メ、此小印刷物ヲ發行頒布スル次第デアル。故ニ、品種改良ニ關スル理論其ノ他詳細ノコトニ就テハ、
前回ノ冊子ニ依ラネバ明カデ無イ。

第二 米麥品種改良事業經營組織

前記本縣ノ計畫セル米麥品種改良事業ノ經營組織ハ、表紙ニ掲ゲタ圖解ノ示ス通りデアツテ、之ヲ『品種
改良ノ研究事業』ト『原種配付事業』トノ二段ニ分ツコトガ出來ル。

一、品種改良研究事業

専ラ當場ガ之ニ當ルノデアツテ、研究方法ノ概況ヲ述ブレバ、從來縣内ニ良品種トシテ廣ク栽培セラ
レテ居ルモノヤ、普通品種試驗ノ結果有望ト認メタ品種等ニ就キ、當場ハ、主トシテ、純系淘汰（良

型分離トモ云フ）ト云フ學理的ノ品種改良法ニ依テ、更ニ其ノ收量ヲ増加セシメ、品質ヲ向上セシメ、
或ハ倒伏性罹病性其ノ他ノ缺點ヲ矯正シテ、一層優良而モ純粹ナモノニ特性ヲ改良シ上ゲタ優良純
系品種ト、農商務省農事試驗場ニ於テ、主トシテ人工交配法ニ依リ育成シタ新品種及他府縣農事試驗
場ニ於テ改良シタ品種中、別ノ試驗ニ依リ、本縣ノ風土ニ適シテ有望ナリト認メタ品種トヲ集メテ、
原種決定試験ト名ヅクル精密ナ試験ヲ行ヒ、之ニ依テ、更ニ、其中ノ最優秀ナル品種ヲ選抜シ、之ヲ
配付用原種ト決定シテ、原種圃ニ移スノデアル。此際、地方委託試験ノ成績ヤ、縣下ノ農學校、青年
會又ハ篤農家等ノ當場配付種子ノ試作成績ヲモ、參考トスルコトニシテ居ル。

以上ノ方法ニ依リ原種ト決定シ、現ニ配付ヲ爲シツ、アル水稻品種ハ、静岡愛國第一號、静岡源一本
第一號、愛媛竹成、愛媛神力、及ビ畿内晩生第四號ノ五種デ、何レモ、在來種ニ比シ、反當收量一二斗
乃至三斗以上多ク、而モ、純粹齊一デ、其他ノ点モ改良セラレテ居ルノデアル。然シ此等ノ品種ハ、
原種トシテ必ズシモ何時迄モ固執シテ、縣下ノ稻ヲ之ニ統一スルト云フワケデハ無イノデ、當場ニ於
ケル品種改良ノ研究ヲ進メテ行ク間ニ、一層優良ナ新品種ガ續々ト出來テ來ルニ從ヒ、順次原種ハ良
イモノニノト變ハツテ行クモノデアル。從テ、原種配付事業ナルモノハ、數年間行ヘバ足ルト云フ
モノデハ無ク、實ニ、永久ノ事業デアルト云フコトガ判ルデアラウ。

二、原種配付事業

前記品種改良研究ノ結果、原種ト決定シタル品種ヲ縣下一般ニ普及セシムルニハ、本縣ノ現狀ニ照シ、暫ク、次ノ如キ系統的ノ配付組織ニ依ルガ適當ト認め、現在此方法ヲ採ツテ居ル。即チ、先ヅ以テ原種ハ農事試驗場内五反歩ノ原種圃ニ於テ之ヲ採種シ、次デ、第一次採種圃ニ於テ之ヲ繁殖ス。第一次採種圃ハ、縣ヨリ經營費ヲ交付シテ縣農會ニ之ガ經營ヲ委託シ、縣農會ハ之ヲ各部ニ分置シ、各郡農會ヲシテ之ヲ直營セシメテ居ル。此等郡採種圃ニ於テ生産セラレタル種子ヲ、夫々其郡内ノ町村農會ニ無償配付シ、町村農會ヲシテ第二次採種圃ヲ經營セシムルノデアアル。次デ、此町村採種圃カラ生ジタル種子ヲ其ノ町村内ノ當業者ニ有償(實物交換)又ハ無償配付シテ、其ノ栽培種子用ニ供セシムル組織トナツテ居ルノデ、毎年其ノ町村内デ要スル種子量ノ四分ノ一ヅ、ヲ供給シ得ル丈ノ採種圃面積ヲ設置シ、四年目毎ニ全部ノ種子ヲ更新スルト云フ方針ヲ樹テタルガ、經費其他種々ノ事情ニヨリ、各町村ニ於テ此計畫ニ副フ丈ノ面積ノ採種圃ヲ直ニ設置スルコトハ、實際困難トスル所モツナク無カラウカラ、其ノ場合ニハ、各農家ニ一二升宛ヲ配付シ、之ヲ用ヒテ、翌年所要ノ種子ヲ自家採種セシムルコト、シテ、少ナクトモ之ニ要スル丈ノ原種ヲバ、必ズ、全部供給スル程度ニハ、町村採種圃ヲ設置シテモラヒ度イ。而シテ、此場合、自家採種ヲ指導獎勵シ、成ル可クハ農家ノ共同採種圃ノ經營、青年會等ノ採種事業ヲモ、進ンデ行ハシムル等ノ方法ヲ講ジテ、品種改良事業ノ健全ナル發達ヲ遂ゲシメ、以テ、農家ノ福利ヲ増進セシメ度イモノデアアル。而シテ、町村採種圃ニ用フル原種

ハ、必ズ、年々、上級ノ採種圃カラ供給ヲ仰ガ無クテハナラヌ。何トナレバ、前ニモ述ベタ通り、農事試驗場カラ出ス原種ハ、品種改良ノ研究ノ進ムニ從ヒ、順次、良イモノニノト變リ、且又、品種惡變ノ原因トナル所ノ自然雜種ハ、或ル程度迄ハ採種圃デモ防ギ得ルケレドモ、之ヲ絕對ニ防グニハ袋掛ノ如キ特別ナ方法ヲ講ジナクテハナラヌノデ、此事ハ農事試驗場ニ於テコソ行フコトガ出來ルガ、採種圃ナドデ行フハ容易ナコトデ無イカラ、假令、毎年同一品種ヲ作ルモノトシテモ、其ノ原種ハ一々上級ノ採種圃ニ仰ガ無クテハ成ラヌノデアアル。

尙、農事試驗場經營ノ原種圃デ生産シタル原種ハ、郡採種圃ノ種子トシテ配付スル以外、尙多量ノ餘分ガアルカラ、之ハ、町村農會、學校、青年會等ノ試作地、其ノ他一般當業者ニ無償配付シテ、原種トナシタル品種ノ優良ナル所以ヲ紹介スルコトニ努メ、併セテ、之等ノ成績ヲ徵シテ研究上ノ參考ニ供スルコト、シテ居ル。

第三 採種圃ノ經營方法

一、採種圃經營上ノ要件

採種圃經營ノ目的ハ、品種改良ノ研究ニ依テ改良セラレタ純系品種ヲ増殖シテ、之ヲ一般ニ配付シ、以テ、良品種ノ普及ヲ圖ルニ在ルハ勿論ナルガ、此目的ヲ達スル爲メ、之ガ經營上ノ要件トシテハ、

◆水稻採種圃ノ經營方法

左記三ヶ條ヲ舉ゲテハ成ラス。

(1) 品種ノ純正ヲ保持スルコト

面倒ナ學理ヲ應用シテ、折角其ノ特性ヲ改良シタ純系品種モ、途中ニ於テ其ノ特性ガ惡變セラル、ナラバ、全ク價値ノ無キモノトナル。此惡變即チ不純トナルノ原因ニハ二ツアル。即チ、異品種々子ノ混合、及び異品種トノ自然雜交ニ基ク多數變種ノ發生デアアル。種子採リニ特別ノ注意ヲ爲サ、ル通常ノ場合、稔、大根類ヲ始メ、稻麥其ノ他ノ作物ノ品種ガ、年ヲ重ヌルト共ニ甚シク惡變スルハ全ク之ガ爲デアアル。故ニ、採種圃ノ經營ニ當リテハ、此二ツノ原因ヲ防ギ、以テ品種ノ純正ヲ保持スルコトニ注意スルコトガ肝要デアアル。

(2) 充實、色澤等形態ノ良好ナル種子ヲ得ルコト

種子ノ良否ヲ決定スル第一ノ條件トシテハ、種子ノ有ツテ居ル遺傳的ノ性質ニ在ルコトハ勿論ナルガ、第二ノ條件トシテ、充實、色澤等、形態ノ如何ヲ考ヘテハ成ラス。如何ニ其ノ品種ハ其特性純良ナモノデ有ツテモ、栽培法其ノ他ノ爲メ種子ノ充實ガ不良デ有ツタナラバ、之ヨリ生ズル苗ハ發育惡シク、從テ、其ノ年ニ於テハ充分ナ收穫ヲ舉ゲ難イデアアル。尤モ、此形態ノ良否ハ其ノ年一代限リノコトデアツテ、特性ノ良否ノ如ク長ク子孫ニ迄遺傳スルモノデハナイカラ、原種圃ナドニ於テハ、形態ノ良否ハ左程重キヲ置ク必要ガ無イカモ知レナイガ、最下級ノ町村採種圃ニ於テ

ハ其ノ種子ガ直チニ翌年農家ノ收穫目的ノ栽培用ニ供セラル、モノデアアルカラ、能ク充實セルコトヲ必要トシ、且ツ、種子ノ充實、色澤等外觀ノ良好ナルコトハ、一般當業者ノ信用ヲ博スル上ニ於テモ必要ナコトデ有ルカラ、第一ニ特性ノ純正ヲ保持スルト共ニ、第二ニ充實、色澤等形態ノ良好ナル種子ヲ得ルニ努ムルコト肝要ニシテ、特ニ、肥エ過ギテ倒伏スルヤウナコトノ無イヤウニセネバ成ラス。

(3) 中以上ノ而モ健全ナル作柄ナラシムルコト

第一、第二ノ要件ガ具ハレバ、種子トシテハ完全ナモノデアアルケレドモ、一般當業者ハ、其ノ採種圃ノ作柄ガ不良ナ時ハ、品種其モノモ亦不良ナモノト考ヘテ、此種子ノ配付ヲ受クルコトヲ希望セヌモノデアアル。夫故、第三ノ要件トシテハ、政策上、採種圃ノ作柄ヲ良好ナラシムルコトニ努メナクテハナラス。然シ餘リニ作柄ヲ良好ナラシメントスル時ハ、動モスレバ、出來過ギ、倒伏ヲ來シテ、充實ヲ妨ゲ或ハ病害ニ侵サル、コトガ有ルモノ故、少クトモ中以上ノ然モ健全ナル作柄ナラシムルヤウ、栽培法ニ注意スルコトガ肝要デアアル。

二、採種圃經營上特ニ注意スベ事項

採種圃經營上前記ノ要件ニ副フ爲メ、普通ノ注意ノ外、特ニ注意スベキ事項ヲ列記スレバ、次ノ如クデアアル。

(1) 設置上ノ注意

(イ) 箇所數ヲ少ナクシテ一箇所ノ面積ヲ大ナラシムルコト
適當ナル管理者、適當ナル土地ヲ選擇スルコト必要ニシテ、之ニ適合スル場所ハ、一町村内ニ於テ餘リ多カラザルベク、殊ニ又、指導管理ノ上ヨリ云フモ、箇所數ノ多キハ最モ不便トスル所デアルカラ、成ル可ク箇所數ヲ減少シ一箇所ノ面積ヲ大ナラシムルコトガ必要デアル。而シテ、原種ノ紹介ノ必要ガアルナラバ、簡單ナル品種試作地又ハ模範作地等ノ如キモノヲ所々ニ設置シ、或ハ、時期ヲ選ビテ、採種圃ノ視察ヲ勸誘スル等ノ方法ヲ講ズルガ適當デアル。

(ロ) 成ル可ク一箇所一品種ヲ可トス

一箇所ニ栽培スル品種ノ數ガ多キ時ハ、管理上ノ手數モ煩瑣ニシテ、且ツ、特別ナ擔當人デ無い限リハ種子混淆ノ虞モ多イカラ、箇所數トノ緩急ヲ度リ、成ル可クハ一箇所一品種ト爲スヲ可トスル。

(2) 苗代ニ於ケル注意

(イ) 苗代田ハ前年脫粒スル品種ヲ栽培セル田ヲ避ルコト

脫粒シテ田ニ殘ツタ種子ハ、翌年迄其ノ生活力ヲ失ハズシテ、苗代ニ於テ發芽スルモノガ案外ニ多イ。故ニカ、ル田ヲ苗代ニスルト、折角混リノ無い種子ヲ蒔イテモ、種子ヲ混ゼタト同ジ結果

ニナルカラデアアル。採種圃用ノ苗代ニハ豫メ前年ニ於テ、脫粒セヌ而モ成ル可ク早稻ヲ作ルガヨイ。早稻ナラバ、若シ脫粒シテモ年内ニ發芽シテシマウ歩合ガ多イ。

(ロ) 前年ノ脫落種子ヨリ生ジタル苗ヲ間引クコト

播種後十日内外ヲ經テ、苗代面ヲ檢スル時ハ、播種シタル粃ノ芽ニ比シ著シク伸長シタル苗ガ、床ヤ通路ノ面ニ點々トシテ生ジテ居ルノヲ認メルデアラウ。之ハ何レモ前年ノ脫落種子ガ發芽シタルモノデアルカラ、苗ガ餘リ伸長シテ兩者ノ見別ケガ困難トナラヌウチニ、早ク苗代田ニ入りテ、必ズ、此混リ苗ヲ間引キ去ラネバナラヌ。尤モ、此ノ外ニ、後レテ發芽スル脫落種子モ有ルカラ、前記(イ)ノ方法ト併セ行ハネバナラヌ。

(ハ) 苗代ニハ品種毎ニ手畦、木框其他適當ナル設備ヲナシテ、水ノ灌排ノ際種子ノ混ラヌヤウ注意スルコト

(ニ) 苗代ノ播種量ハナルベク少ナクシ、發芽後、不良ナモノヤ密ニ過グル部分ヲ間引キテ、強健ニシテ齊一ナ苗ヲ作ルコト

後述スルガ如ク苗ハ必ズ一本植ニセネバナラヌガ故ニ、苗ハ相當強健ナモノヲ作ツテ置カネバナラヌ、又、可良ナル生育ヲ遂ゲシムル爲メニハ苗ヲ丈夫ニスル必要ガ有ルカラデアアル。

(3) 本田ニ於ケル注意

(イ) 本田ハ乾田ニシテ、水ノ灌排便ナル所ヲ選ビ、下水ノ流入スル所ヤ肥過ギ或ハ日蔭ノ土地ハ必

ズ之ヲ避ケルコト

乾田ハ混リ株ノ除外、收穫其ノ他總テ作業ニ便ナルノミナラズ、誤リテ倒伏セシメタル場合モ、穂ヲ水ニ浸シテ種子ヲ害スルコト少ナク、又、下水ノ流入スル所ヤ肥過ギ或ハ日蔭ノ土地デハ、健全ノ發育ヲ爲シ、優良ナル種子ヲ生産スルコト不可能ナルガ爲デアル。

(ロ) 本田ハ必ず一本植トスルコト

一本植其ノコトハ何等優良ナル種子ヲ得ル所以デナイガ、調製ニ注意シ、苗代デ注意シテモ、他品種ノ種子ノ絶對ニ混ラスト云フ譯ニ行カヌ。此混リ株ハ本田ニ於テ除去セネバナラス。一本植スレバ、各株ハ一粒ノ種子ヨリ生ヘタモノデ、其種子ノ有スル特性ガ充分ニ發揮セラル、ガ故ニ、此混リ株ノ特性ガ明ニ分テ、之ヲ除外スルニ便利デアルカラデアル。苗ノ發育ガ悪カツタカラト云テ多本植シタリ、或ハ、一本植シタラ直ニ優良ナル種子ガ出來ルヤウニ思ツテ混リ株ノ除去ヲセヌヤウナノハ、大ナル誤リデアル。

(ハ) 豫備苗ヲ一本植ニシテ置キ、缺損株ノ補植、不良株ノ植エ換エヲ行フコト

一本植デアルカラ、螟蟲被害其他ニヨリ、植付後二三週間ノウチニ、缺損株ヤ不良株ノ出來ルコトガアル。之ガ補植又ハ植換ノ爲メ、多數ノ豫備苗ヲ田ノ周圍等ニ植エテ置カネバナラスノデ、此際豫備苗モ必ず一本植トシテ置イテ、植換ノ際相當ノ發育ニ達セシメテ置ク必要ガアル。

(ニ) 挿秧株數ハ從來ノ多本植ノ場合ヨリモ多少密ニシタ方が多收ヲ得ラレルコト

採種圃ノ目的ハ多收ヲ得ルコトデハ無イノハ勿論ナルモ、少ナキヨリ多キヲ欲スルハ言フ迄モ無イ。其レ故、混リ株ノ除去其他ノ作業ニ不便ノナイ程度ニ於テ、密植スルガヨカラウ。

(ホ) 採種圃ノ肥料

採種圃ノ肥料ハ、從來甚シク少ナクスルガヨイヤウニ思ハレテ居タガ、強チサウスル必要ノ無イノミナラズ、中以上ノ健全ナル成育ヲ爲サシムル程度ニ施スガヨイ。但シ出來過ギハ決シテサセヌヤウ注意スベク、殊ニ倒伏スレバ優良ナル種子ハ得ラレヌガ故ニ、三要素ノ配合ニ注意シテ此コトノ無キヤウニセネバナラス。

(ヘ) 異種變種ノ株ヲ除去スルコト

出穂ヨリ成熟ノ頃ニカケ、數回圃ニ入りテ一株毎ニ出穂期、草丈、穂ノ形狀、芒ノ有無多少、芒、稈先及稈ノ色、粒形等ニ注意シテ、混リヤ變リモノト認ムルモノ、及不稔實稻ト稱シ糶ヲ多量ニ生ズル株(遺傳スルモノ多シ)アリタル時ハ、之等ヲ直ニ刈取り、又ハ根拔ギニシテ、(布片ナドニテ印ヲシテ置クコトハ不可デアル、根拔ギニシテ別ノ田ノ中ヘ入レテ置ケバ相當ニ充實スルカラ不經濟デハ無イ)除去シナクテハナラス。此事ハ屢々忽ニサレルコトデアルガ、採種圃經營上最モ重要ナコトデ、一本植スル理由モ此作業ニ便ナラシムル爲ニ外ナラナイノデアルカラ、充分

注意シテ實行セネバナラス。

(4) 害蟲驅除ニ關スル注意

苗ハ大キク出來テ居ルカラ螟蟲ハ餘計ツキ易ク、且、一本植ハ被害ノ程度多本植ニ比シ餘程激シイヤウデアアルカラ、之ガ驅除ニハ特ニ注意シナケレバナラス。殊ニ、第二化ノ螟蟲ハ、單ニ收量ヲ減ズルノミナラズ、籾ノ充實ヲ甚シク不良ナラシムルガ故ニ、努メテ、被害莖ノ切取りヲ行フ必要ガアル。其他ノ病蟲害ニ就テモ充分ノ注意ガ必要デアアル。

(5) 收穫及調製ニ關スル注意

(イ) 收穫ハ適期ニ之ヲ行ヒ、早クスルトモ後レヌヤウ注意スルコト

收穫早キニ過グル時ハ充實完カラズト雖モ、晩キニ失スル時ハ又、風雨ニ曝サレ、色澤ヲ損ジ、甚シキハ發芽力ヲ害セラル、虞アルガ故ニ、必ズ、適期ニ刈リ取ラネバナラス。併シ、何レカト云ヘバ、晩キニ失スルヨリ、寧ロ、幾分早刈シテ徐々ニ乾燥シ、後熟セシムル方安全デアアル。而シテ、收穫ノ適期ハ、籾ハ黃變シ、穗頸亦黃變セル時ト思テヨカラウ。

(ロ) 異品種ニ隣接セル部分、若クハ、假合同名ノ品種ナリトモ異系統ニ屬スルモノニ接シテ居ル部分ハ、雜種シテ居ル虞アルガ故ニ、收穫ノ際、數畦ヲ除去シテ種子用ニ加ヘザルコト。

(ハ) 其他種子用トシテ不良ナル部分ハ除去スルコト

採種圃ハ、前記ノ諸注意ヲ加ヘテ、揃テ良ク出來ルコトヲ欲スレドモ、萬一ノ誤等ヨリ、採種圃ノ一部甚シク倒伏シタリ、又ハ、穗頸稻熱其他ノ病害ニ侵サレタ場所ノ出來タ場合ニハ、此部分ハ刈除キテ種子トシテハナラス。

(ニ) 乾燥ニ注意スルコト

急激ノ乾燥ヤ過度ノ乾燥ハ、胴割ノ原因トナリ、種子用トシテハ好マシクナイガ、然リトテ、乾燥不良ナルコトノ惡シキハ勿論ナレバ、充分注意セネバナラス。

(ホ) 乾燥、調製等ノ作業中、異品種ノ混淆ヲ防グコトニ最モ注意スルコト

乾燥、調製等ノ作業中、異品種ノ種子ガ、稻扱、箕、唐箕、蓆、其他ノ農具又ハ衣服、履物等ニ附着シテ、混淆スル場合甚ダ多ク、爲ニ、品種ノ不純ヲ來シ、甚シキハ立毛中ノ折角ノ苦心モ水泡ニ歸シ、或ハ左程ナラズトモ、種子ノ信用ヲ失墜スルコトアルモノデアアルカラ、此等農具ハ、使用ニ先チテ、必ズ、精細ニ検査シテ清掃シ、又、作業ニ従事スル者ハ、起居ニ注意シテ、異品種ノ混淆ヲ絶對ニ防グヤウ周到ナル注意ガ必要デアアル。

(6) 貯藏ニ關スル注意

包裝ニ就テモ、異品種ノ混淆ヲ防グ爲メ、成ル可ク、保米袋ヲ用ヒテ俵裝スベク、其俵モ一度他ニ用井タルモノハ成ル可ク之ヲ避クルガヨイ。貯藏ノ場所ハ、成ル可ク乾燥シ、且ツ、溫度ノ變化少ナキコトヲ欲スルハ勿論デアアルガ、其他、鼠害ハ種子量ノ損失ヲ來スノミナラズ、他品種ノ混淆ヲ

來ス危險アルヲ以テ、此點ニ就テモ充分注意スルガヨイ。

(7) 選種ニ關スル注意

採種圃ノ經營其ノ宜シキヲ得、純正ニシテ形態亦可良ナル種子ヲ得タリトスルモ、此種子中ニハ、多少、充實不良ノ種子ノ混在スルコトハ、如何ニシテモ免レヌコトデアル。故ニ、之ガ調製ニ當リテハ、叮嚀ナル唐箕選ヲ行フノ外、更ニ、之ガ配付若クハ浸種ニ先チテ、必ズ、鹽水選種ヲ行ヒ、充實不良ノ種子ヲ除去セネバナラス。然ル時ハ、初メテ、特性形態共ニ優良ナル種子トナルノデアアル。

(8) 配付ニ關スル注意

(イ) 各種ノ方法ニヨリ、豫メ、原種ノ優良ナルコトヲ一般ニ周知セシメ、當業者ガ、成ル可ク自發的ニ、配付ヲ希望スルヤウ、獎勵シナクテハナラス。故ニ、勸誘ニハ努ム可キデアアルガ、配付種子ノ栽培ヲ強制スルガ如キハ戒メナクテハナラス。

(ロ) 配付ハ、成ル可ク多數ノ者ニ普及スルヤウ、注意スルコト但シ、一人ニ對シ、少ナクトモ一二升以上ヲ宛テナクテハナラス。

(ハ) 配付ノ際、種子ノ混淆又ハ品種名其他諸種ノ誤リ等ヲ生ゼヌヤウ注意スルコト

一口毎ニ布袋ニ入レテ封緘配付スルヲ理想トスルガ、町村ニ於テハ、經費ノ關係上、此事ノ困難ナルモノ多カラウカラ、其ノ場合ニハ、適宜、之ニ代ハルベキ方法ヲ講ジテ、種子ノ混淆又ハ諸種ノ誤リ等ヲ生ゼザルヤウ注意セネバナラス。

(完)

大正七年六月一日印刷

大正七年六月六日發行

静岡縣農事試驗場

静岡市吳服町二丁目三十七番地

印刷者 野崎重兵衛

静岡市兩替町二丁目一番地

印刷所 池鶴堂印刷所

372

114